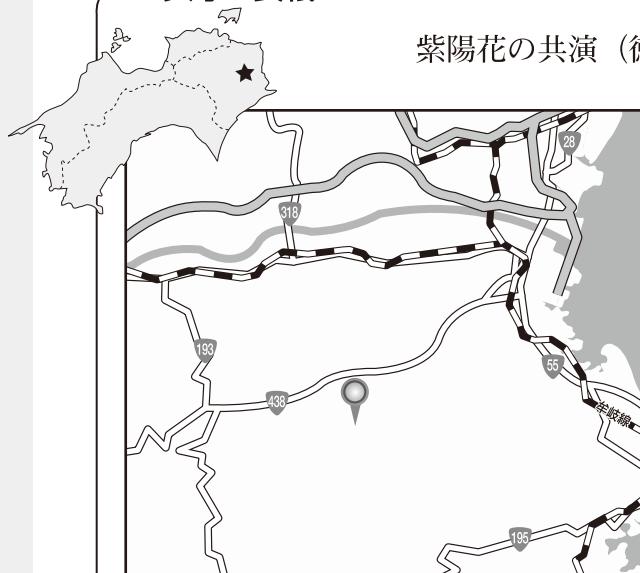


目 次 「四国と電気」 No.244

卷頭言	18年ぶりの 社員総会を終えて	(一社) 日本電気協会 四国支部 事務局長 善相原 浩司 2
特 集	第75回支部大会・ 関連行事の開催	一般社団法人 日本電気協会 四国支部 3
特 集	日本電気協会 第101回社員総会の開催	一般社団法人 日本電気協会 7
電 気 安 全	令和3年度電気事故の発生状況 について	中国四国産業保安監督部 四国支部 電力安全課 9
会務報告	支部のうごき／お知らせ	一般社団法人 日本電気協会 四国支部 15

今月の表紙

紫陽花の共演（徳島県大川原高原）



徳島県北東に位置する県内唯一の
村、佐那河内村にある大川原高原。

標高1,019mの頂上からは徳島平野
が一望でき遠くは和歌山県まで見渡
せる360度のパノラマ風景が楽しめ
る。紫陽花の名所としても知られ夏
期には頂上に植えられた約3万本の
色鮮やかな紫陽花が咲き誇る。

（撮影：須田 隆司）

18年ぶりの社員総会を終えて

(一社) 日本電気協会 四国支部 事務局長 善相原 浩 司

去る6月9日に、日本電気協会の社員総会が、JRホテルクレメント高松殿を会場として開催されました。当初は2年前に開催予定でしたが、コロナ禍により、また昨年は第100回の節目となる記念総会が東京で計画されていたこともあり、本年に延期となりました。

そして、日本電気協会の社員総会は、全国10支部のうち関東・沖縄を除く8支部管内と東京で交互に行われてきていることから、四国では18年ぶり(4回目)の開催となりました。

18年前の私は、日本電気協会の何たるかもよく知らないまま、再開発地区にオープンしたばかりのホールと今回も会場となったホテルをつなぐ100M超の導線の真ん中辺りで、大勢の関係者が迷わぬよう声を張り上げ全身で誘導していたことを思い出し、これも何かの巡りあわせかと感じながら、当日の朝を迎えました。

地方総会の醍醐味は、何といっても地元の海の幸・山の幸と地酒を堪能しつつの懇親会ですが、新型コロナウィルス感染の拡大状況などから、止む無く中止が決定されてしまいました。

となると、当日のお楽しみは俄然夏井いつき先生の講演会「句会ライブ」ということに…振り返ると3年ほど前、佐伯支部会長をはじめとする首脳陣の「四国総会での講演は是非とも愛媛出身の俳人夏井いつきさんで」との熱い思いを背に、先生の事務所へまさしく飛び込み営業をかけ、さまざまな方々のご協力もいただきながら契約にこぎつけました。コロナ禍により一旦白紙となったものの、事務所との絆を保ち、ラブコールを重ねてこの日の登壇が実現しました…長かった。

句会ライブは「素人でも5分間で1句作れる体にする」という先生のモットーのもと全員参加型で、



本番直前の夏井先生と支部スタッフとともに

常に先生と聴衆約200人との対話形式により進行し、笑いと拍手が絶えないまま最優秀作品の決定に至りました。

前半の目玉、俳句の作り方を聴衆とやり取りしながら指南するくだりでなんと佐伯会長が指名され、シナリオレスの掛け合いが10分強、はらはらする場面もありましたが、会長渾身のパフォーマンスにより場の雰囲気が一気に夏井ワールドに染まった感がありました。

また、先生がその場で投句されたなかから選んだ特選句7句のうち3句が、東北・関西支部の事務局長ならびに四国電気安全委員会会長であったことも、私にとって嬉しいサプライズでした。

当日、更には後日、コロナ禍のなかよくぞ開催してくれた、懐かしい方々と会えた、句会ライブは会場が一体となり楽しかった等々のコメントを大勢の方からいただき、感無量がありました。

流石に、また16年後が楽しみだねとのお声には黙って笑うしかなく…時代がどう変わっていこうが、使命を同じくする電気関係事業者が、派手さはなくともリアルに集うことができ、共感しあえる場が残っていてほしいと願いながら。

最後になりましたが、四国電力株殿をはじめ18年ぶりの社員総会の開催にご尽力、ご協力いただいた会員各位・関係者の方々に、この場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。

第75回支部大会・関連行事の開催

一般社団法人日本電気協会四国支部の支部大会・関連行事については、一昨年、昨年と、松山市のANAクラウンプラザホテル松山での開催を計画いたしましたが、コロナ禍により、2年連続で書面開催への変更を余儀なくされてまいりました。

本年5月23日（月）、漸く3度目の正直で、感染症対策を徹底して、令和4年運営委員会・第75回支部大会および関連行事を、同ホテルで開催することができました。

支部大会では、佐伯支部会長の開会あいさつの後、(1)令和3年度事業報告ならびに令和4年度事業計画、(2)令和3年度決算ならびに令和4年度事業計画について報告され、承認されました。

（出席者数約130名）



佐伯支部会長挨拶



大 会 風 景

令和4年度事業計画骨子～会員の皆さまのご要望をふまえた施策の検討・実施～

運営委員会のメンバー（約40名）等へのアンケート・ヒアリングにより、平成30年度以降、毎年、事業運営に関するご意見・ご要望をお聞きしている。

こうして頂いたお声や、会員各位のニーズをふまえつつ、以下のような行事の企画・運営や諸施策を実施しており、令和4年度も継続していく。

- ① 電気記念式典や支部大会等の諸行事について、会員相互の親睦はもちろんのこと傘寿功労者をはじめ表彰を心待ちにしている方々のため、コロナ禍のもとでも、安全、安心を大前提に、可能な限り実施する方向で取り組む。
- ② 資格取得支援をはじめとする各種講習会に関しては、当該会場での講師との質疑応答により理解が深まる、所謂「対面方式」へのニーズが根強いため、地域密着を使命とする当支部として、引き続き「対面方式」による運営を基本とする。

その一方で、リモート方式での受講希望もあることから、試験的に第二種電気工事士の筆記試験に向けた基礎理論講習会の模様をわかり易く収録、編集したDVDを制作し、希望者への販売を始めた。この実績をふまえながら、今後多様化するニーズに応えられる講習ツールのあり方を検討していく。

- ③ 四国における電気技術者の後継者不足を憂慮する声はますます高まっていることから、電気関係の国家資格取得に必要な教材の提供や電気工事業の魅力を実体験を交えて伝える出前講義の継続実施など、引き続き、電気専攻の高校生をターゲットにした育成・支援に注力していく。

表 彰 式

支部大会に引き続き、令和3年度「永年従事功労者」の表彰を行いました。

続いて、原伸幸 四国経済産業局長、中村時広 愛媛県知事、高橋宏明 日本電気協会会长（古澤宏専務理事代読）からご祝辞をいただき、最後に、受賞者を代表して株式会社伊予鉄グループの岡田好功氏が謝辞を述べ、表彰式を終了しました。



原四国経済産業局長祝辞



中村愛媛県知事祝辞



高橋日本電気協会会长祝辞
(代読 古澤専務理事)



代表謝辞 岡田好功 氏



おめでとうございます



永年従事功労者 (18社・団体、218名)

[四国支部会長表彰] (敬称略)

(株)伊予鉄グループ	9名
大澤建設工業(株)	1名
(株)西電	1名
四国計測工業(株)	41名
(株)四国総合研究所	1名
四国電気工事組合連合会	4名
一般財団法人四国電気保安協会	4名
四国電力(株)	56名
四国電力送配電(株)	39名
四変テック(株)	8名
昭電テックス(株)四国支社	3名
住友共同電力(株)	6名
大一電気工業(株)	1名
テクノ・サクセス(株)	1名
四電エンジニアリング(株)	15名
(株)四電技術コンサルタント	1名
(株)四電工	26名
四電ビジネス(株)	1名



受賞者代表（第1組）



受賞者代表（第2組）



永年従事功労者表彰

記念講演

表彰式終了後、地元愛媛県出身のスポーツジャーナリスト 二宮清純氏をお迎えし、「勝つリーダー、負けるリーダー」と題してご講演いただきました。



スポーツジャーナリスト 二宮清純 氏

懇親会

記念講演終了後の懇親会は、新型コロナウィルス感染症対策徹底の観点から、人数を絞り込んで着席方式にて行うこととし、懇親会出席のご意向をお示しいただいた方々のうち、永年従事功労者の皆様ならびにその方々の所属企業・団体の代表者等の方による夕食会とさせていただきました。

冒頭、記念講演講師の二宮清純氏が急遽懇親会ご参加というビッグサプライズに、参加者から歓声が上がりました。その後、丹一志 住友共同電力(株)社長の乾杯のご発声を皮切りに、全員が節度を保ちながら楽しいひと時を過ごし、盛況裡に終了しました。



懇親会風景



丹一志 住友共同電力(株) 社長



二宮清純 氏を囲んで

日本電気協会 第101回社員総会を高松市で開催

一般社団法人日本電気協会本部の第101回社員総会が、令和4年6月9日（木）、高松市のJRホテルクレメント高松において、全国各地から電気関係事業者約200名を迎えて盛大に開催されました。

総会の冒頭、地元四国を代表して佐伯勇人 日本電気協会四国支部会長（四国電力(株)取締役会長）が、歓迎の挨拶に立ち、続いて、高橋宏明 日本電気協会会長（東北電力(株)特別顧問）が開会あいさつを行いました。

その後、高橋会長の議長のもと、(1)「令和3年度事業報告および決算の承認の件」、(2)「定款の一部変更の件」、(3)「役員選任の件」の3件について、いずれも原案どおり決議承認され、報告事項では「令和4年度事業計画および予算」が報告されました。

総会終了後の講演会では、愛媛県出身で、俳句の都・松山を拠点に俳句の普及活動に尽力しておられ、テレビラジオでもお馴染みの俳人 夏井いつき氏をお迎えしての句会ライブが開催され、好評のうちに終了しました。



佐伯会長歓迎挨拶



高橋会長挨拶



社員総会





夏井いつき氏 句会ライブ

参加者それぞれの投句のなかから夏井先生が選定した特選句7句に対し、参加者が挙手して好きな句やその理由・解釈等を発表しました。最後に、多数決で最優秀作品を選び、四国電気安全委員会の新居田会長（四国電力送配電株常務取締役）が詠んだ

「蝉時雨点滴数え日を数え」
に最多票が集まりました。



行事終了後、各地方支部の事務局長が集いました。コロナ禍によってWEB会議が続いたことで、直接会うのは今回が初めてという方も多く、人と人との直接関わることの重要性を再認識しつつ、今後の支部運営などについて、胸襟を開き、楽しく語り合いました。



新居田四国電気安全委員会会長



各地方支部事務局長